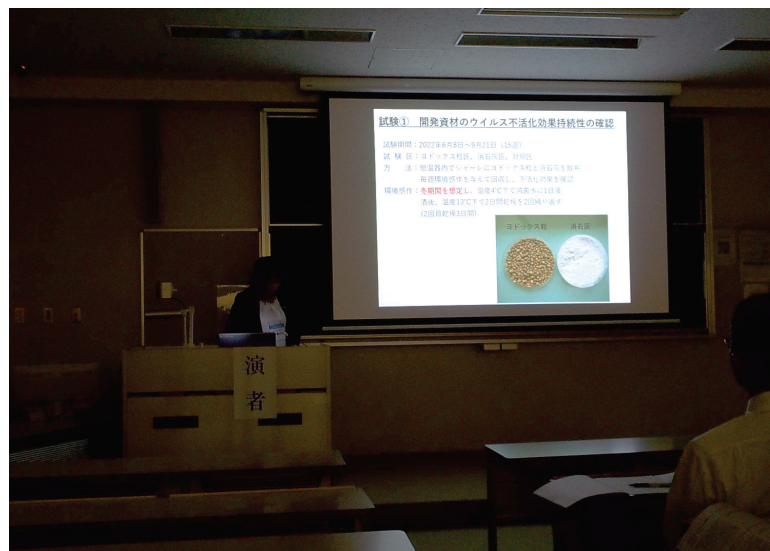


## 待ち受け型病原体侵入防止資材の研究成果を学会で発表

当センターが産官学連携で共同開発した待ち受け型病原体防止資材「ヨドックス粒」の研究成果について、9月1日に開催された令和5年度近畿地区鶏病技術研修会及び9月17日に開催された令和5年度獣医学術近畿地区学会(いずれも開催地は大阪府)にて発表を行いました。前者は養鶏に係る畜産関係者、後者は主に近畿地区で活動する獣医師が参加する学会で、意見交換により研究の質を高める場として活用されています。

10月から始まる高病原性鳥インフルエンザの重点対策期間に向けて防疫対策に使用できる資材ということもあり、出席者の関心が高く、現場での使用を検討したいという意見もいただきました。

課題である運用コストの削減に向けての試験を今後も実施し、さらに現場で使いやすい資材を目指し、普及に繋がります。



獣医学術近畿地区学会での発表の様子